

今月のコンテンツ

- 2020年・新年のご挨拶
理事長・副理事長・業務執行理事より
- 今月のお知らせ
- (広報担当) 年始のご挨拶



子
謹賀新年

旧年中はいろいろとお世話になり
ありがとうございました
本年もよろしくお願い申し上げます

令和二年 元旦



© illust-ai.com

副理事長よりのご挨拶

共同・協働の推進を：社会医学系活動のさらなる充実へ

今中 雄一
社会医学系専門医協会
副理事長・業務執行理事



謹賀新年。2020年は社会医学系専門医制度にとって重要な時です。

2017年4月発足から三年となり、来る3月に専攻医の第一期生が3年間の研修を修了し、夏（今年は9月）に専門医試験が実施されます。今年度は100名程度の受験が見込まれています。専門医試験は、筆記試験、個人面談、グループ討議からなり、専門性と実績を多角的に問うものです。3年目の専攻医の方、その担当指導医の方、「修了要件」をしっかりと満たすべく確認と対応をお願い致します。

社会医学系専門医制度は、8学会6団体が協働して設立し運営しています。これは、臨床系では類を見ない稀有なる運営形態ですが、実務と科学、現場と行政が融合する社会医学系専門活動を推進していく際に、理想的な共同体となっています。各社会医学系専門医研修プログラムは、行政・地域、産業・環境、医療の三領域を含むものとなっており、専攻医は自らの主分野以外の副分野も学び、社会医学系活動の全体を俯瞰できるようになります。現時点で、75の専門医研修プログラムが認定されており、全都道府県をカバーしています。各プログラムは互いに情報交換しながら次第に発展を遂げ、全国の専攻医は、日々、社会医学系の専門性を高めるべく研修に励んでいます。また、専門医、指導医は合わせて3,000を超えており、当制度は生涯研修推進、さらには貴重な人的ネットワーク強化の契機となっています。

社会医学系専門医制度は、人々の健康と命を預かるプロフェッショナルである医師が、使命感、倫理性、誇りと公共への責任をもって自律的に運営する制度であることを基盤とし、個々人の専門医の質を保証し、その質をさらに向上させる、という目的を有します。そして、チームや集団としても、制度としても、国民に信頼され、医療および公衆衛生の向上に貢献する、ということを目指しています。

超高齢社会が進み、国家財政も逼迫する中、社会システムにアプローチする社会医学系専門活動は益々重要となってきます。ぜひとも、共同・協働を推進し、当制度をうまく活用していきましょう。そして、健康を守る組織の実現を、よりよい保健制度、医療制度の実現を、目指していきましょう。

業務執行理事よりのご挨拶

令和元年度研修プログラム統括責任者連絡会議を終えて

大久保 靖司
社会医学系専門医協会
業務執行理事



あけましておめでとうございます。

本年も社会医学系専門医制度をよろしく願いいたします。

ご存じのとおり、社会医学系、公衆衛生領域の医師の育成は喫緊の課題と理解されています。それを担う制度として社会医学系専門医制度が設立され、専攻医を対象とし専門研修プログラムにて経験を積み専門医を育成することと専門医等を対象とした生涯教育からなる制度として運営されています。特に、質の高い専門医の育成が求められるところであり、そのために専門研修プログラムの質の向上とプログラム運営側から制度への課題などのフィードバックを目的とした研修プログラム統括責任者連絡会議を毎年開催し、すべての研修プログラムの統括責任者は参加が義務付けられています。

本年度は、2019年12月8日、14日に研修プログラム統括責任者連絡会議をそれぞれ東京会場、大阪会場にて開催されました。

これらの連絡会議では、研修プログラム認定・運営状況の報告がされ、認定されている研修プログラムは75であること、制度の変更点の説明、専攻医の研修の評価における多職種評価の必要性や研修手帳の記載例の説明などが行われました。また、令和元年に第1回の専門医試験が実施されたことより、専門医試験の概要と運営について説明が行われ、知識を問う筆記試験の試験範囲が基本プログラムであること、基本プログラムは定期的に更新されるので最新のもので学習しておく必要があること、面接試験では実務研修の内容やレポートの内容に沿って質問されること、グループディスカッションでは議論への積極的な参加やコミュニケーションスキルが求められることが説明されました。

引き続き、グループ討議が行われ、研修プログラムの運営での工夫、また悩みなどが話し合われました。目立った意見としては、副分野の研修の計画が難しいこと、新卒の専攻医などでは研修できる範囲に制限があること、特に副分野においては、実務経験はどのレベルまでを求めているかなどが悩ましいなどの意見が出されました。

研修プログラムの運営上、各プログラムで共通していたのは、副分野の研修をいかに効果的に実施するかという悩みと思われました。副分野は本務とはしにくい研修となるため、研修時の身分の確保や専攻医の事例への関わり方の調整には、副分野の研修を担当する指導医と施設の積極的な関与が必要と感じられました。また多くの事例を見学、経験することや日程的な調整を行いやすくするためには、副分野を担当する専門医や施設は一層必要になってくると思われまます。

つきましては、現在、副分野の担当として専攻医の指導に関わる指導医の方だけでなく、現時点で研修プログラムに参加していない指導医の方も、ぜひとも連携施設や研修協力施設としてお近くの研修プログラムにご協力いただきたく、お願いいたします

今月のお知らせ

◆基本プログラムの社会医学系 e ラーニングコンソーシアムよりの連絡

＜視聴履歴＞について

- ✓ 社会医学系専門医協会と日本公衆衛生学会で構成している「社会医学系 e ラーニングコンソーシアム」の視聴者様の視聴履歴データは、視聴から3年経過しないと消去しない様に修正。
- ✓ 現在のデータベースに保存されてい、3年以内の視聴履歴データは、視聴履歴のページで表示される。
- ✓ 視聴者のログイン後の動画一覧で、過去3年以内に視聴をした動画は、視聴済み（緑マーク）と表示される。

◆関連学会の総会/学術大会のお知らせです。

第30回日本疫学会学術総会



- 開催年月日： 2020.2/20（木）-22（土）
- テーマ： 疫学と隣り合う諸科学：共にさらなる発展を
- 代表者： 中山 健夫
 （京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻健康情報学分野教授）
- 開催地： 京都市
- 会場： 京都大学 百周年時計台記念館、国際科学イノベーション棟
- 事務局連絡先： <京大事務局> 京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻健康情報学
 〒606-8501 京都市左京区吉田近衛町
 <運営事務局> 株式会社日本旅行 西日本 MICE 営業部 内
 〒530-0001 大阪市北区梅田 1-11-4 大阪駅前第4ビル 5階
 TEL：06-6342-0212 FAX：06-6342-0214 E-mail：jea30@nta.co.jp
- 開催案内 URL： <http://web.apollon.nta.co.jp/jea30/>

第25回日本災害医学会総会・学術集会



開催年月日： 2020.2/20（木）-22（土）

テーマ： これでもいいのか、災害医療！

代表者： 会長 中山 伸一（兵庫県災害医療センター センター長）
 副会長 山下 晴央（神戸赤十字病院 院長）
 空地 顕一（兵庫県医師会 会長）
 小谷 穰治
 （神戸大学大学院医学研究科 外科系講座 災害・救急医学分野 教授）

開催地： 神戸市

会場： 神戸国際会議場、神戸商工会議所、アリソンホテル神戸

事務局連絡先： 学術集会事務局 兵庫県災害医療センター
 〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1丁目3-1
 運営準備室 日本コンベンションサービス株式会社 神戸支社内
 〒650-0046 神戸市中央区港島中町6-9-1 神戸国際交流会館6F
 TEL：078-303-1101 E-mail：25jadm@convention.co.jp

開催案内 URL： <https://site2.convention.co.jp/25jadm/>

第90回日本衛生学会学術総会



第90回日本衛生学会学術総会
 The 90th Annual Meeting of the Japanese Society for Hygiene

メインテーマ
温故創新

2020.3.26 THU ~ 28 SAT

会長：坂田 清美
 (岩手医科大学 衛生学公衆衛生学講座 教授)

会場：アイーナ (いわて県民情報交流センター)
 〒020-0045 岩手県盛岡市盛岡駅西通1丁目7番1号

中尊寺金色堂
 龍泉洞
 わんこそば
 岩手短角和牛

HOME Information

開催年月日： 2020.3/26 (木) -28 (土)

テーマ： 温故創新

代表者： 坂田 清美 (岩手医科大学 衛生学公衆衛生学講座 教授)

開催地： 盛岡市

会場： 岩手県民情報交流センター アイーナ (岩手県盛岡市)

事務局連絡先： <学会事務局> 岩手医科大学 衛生学公衆衛生学講座
 〒028-3694 岩手県紫波郡矢巾町医大通一丁目1番1号
 TEL：019-651-5111 FAX：019-908-8008
 <運営事務局> 株式会社 プロコムインターナショナル
 〒135-0063 東京都江東区有明三丁目6番地11 TFTビル東館9階
 TEL 03-5520-8821 FAX 03-5520-8820 E-mail：jsh90@procomu.jp

開催案内 URL： <http://www.jsh90.umin.ne.jp/index.html>

業務執行理事よりあとがき

2020 年を迎えて～謹賀新年

 社会医学系専門医協会
 業務執行理事
 大槻 剛巳


新年、明けましておめでとうございます。

社会医学系専門医協会の発足は2016年12月5日ですので、既に丸3年が過ぎました。ここ2年の新年号のニュースレターには、宇田理事長からのメッセージを頂戴しておりましたが、今年は、賀状にお顔写真を掲載させて頂くことにしました。2019年の10月号で、丁度、業務年度を終えて、理事会と総会での報告などの終了報告も掲載させて頂いたこともあったからです。

今年は、今中副理事長よりメッセージを頂戴しました。また、業務執行理事としてご尽力いただいています、大久保先生からのご挨拶も掲載させていただきました。今中先生には、2020年に実施される第



2回目の専門医試験について、特に、2017年4月からの専攻医が研修を終えて、受験する初の試験になることで、加えて、オリパラがあることにより、2019年の8月中旬から9月に変更している点なども記して頂きました。さらに、大久保先生からは、2019年の12月に実施されました研修プログラム統括責任者連絡会議からの話題を提供していただきました。

では「あとがき」としては……、大槻も川崎医科大学の研修プログラムの統括責任者として、大阪会場に足を運びました。今年も、大阪大学の中之島センターが会場だったのですが、丁度、入り口の前の花壇に、なんと寒桜でしょうか？ 去年も、ほぼ同じ時期だったのですが、やはり一年違えば気候なども違っていたようで、今年は綺麗に咲いていました。

冒頭にも記しましたが、協会発足については、その2年ほど前から、準備のための協議会も実働しておりましたので、コアメンバーとして努力されていらっしゃる方々は、もう5年以上、担当をしてくれていることになり、そのご尽力とご努力には本当に頭が下がります。さらには、本協会も、中心的に運営その他に携わって下さる担当者について、これまでの経緯を熟知されている人材とともに、新しいアイデアや、これまで少し距離のある場所から観察されてこられたことを、よりよく今後の運営に活かしていけるような人材にも係わって頂くことによって、円滑に協会自体の運営が進められることも重要になる時期に至ってきている印象があります。2020年の更なる発展のために！